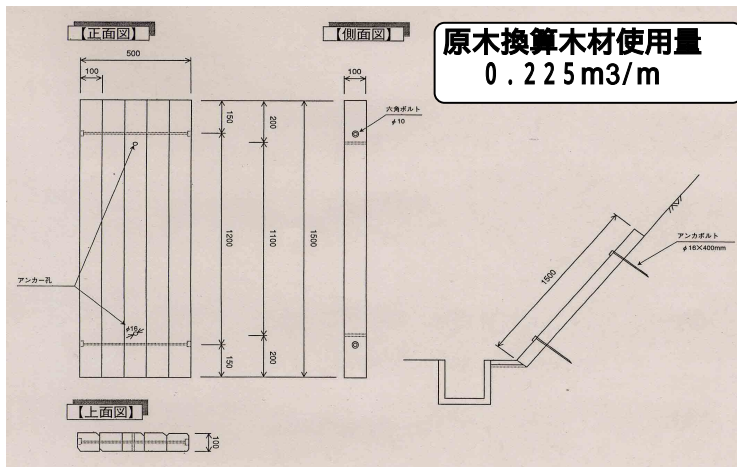


# 間伐材パネルの概要について

## 1 間伐材パネルの規格

間伐材で作成したパネル(1500mm\*500mm\*100mm)を切土法尻へアンカーで設置



## 2 設置の目的

道路維持管理費の低減(防草効果) 視距の確保	視線誘導効果 間伐材の利用促進
---------------------------	--------------------

## 3 構造物の耐久性

スギ : 野外で5~6.5年
ヒノキ : 野外で7~8.5年



指針に示す左のデータは、最も腐朽しやすい地際部のものであり、法尻の施工の場合、10年程度は施工目的を維持するものと思われる。

## 4 事例: 設置後の効果の持続

林道石見高原線(邑南町)

・平成16年度設置(1年目)



・平成14年度設置(3年目)



植生はさらに伸びるが防草効果は歴然  
間伐材は変色以外は変化なし

・平成15年度設置(2年目)



パネルの隙間から部分的に植生が覗く  
間伐材は変色以外は変化なし

・平成13年度設置(4年目)



パネル上部の一部表面のみ腐朽が始まる

林道火の谷分谷線(日原町)

・平成12年度設置(5年目)



パネル上部で一部腐朽した部分あり  
全体の形状に変化はない

・平成11年度設置(6年目)



パネル上部で腐朽した部分あり  
全体の形状に変化はない